

平成31年度 くま緑の県民基金市町村提案型事業(独自提案事業) 事業採択整理案

【独自提案事業の採択の考え方】

1	市町村が制度化を図り予算確保した事業で、くま緑の県民税の趣旨に合致するものについては、対象地等が特定されない段階でも独自提案事業として認める。ただし、交付決定は対象地等が特定されてから行うものとし、補助額は各事業毎の補助上限額以内とする。
2	森林整備後の管理体制が確保されていない時点で「荒廃した里山・平地林の整備」と同等以上の提案があった場合は、「管理体制の構築に努めることを条件」とし、各事業毎の補助上限額の1/2以内、同一地につき1回限り条件に独自提案事業として認める。
3	市町村提案型事業の趣旨に合致しているが、補助対象とされていない事業を実施するにあたり、その目的や意義、事業実施後の有益性等が担保されると判断できた事業を独自提案事業として認める。

【採択事業案】

番号	市町村名	事業名	事業内容	事業費(円)	事業費の内訳			審査会意見
					県補助金(円)	市町村負担金(円)	採・不	
1	高崎市	里山元気再生事業	野生鳥獣の隠れ場になっている竹林や里山林等の伐採・下刈を行い、緩衝帯を整備して、野生鳥獣被害の低減を図る。 20団体を予定	6,000,000	3,000,000	3,000,000		上記理由1により採択としたい ・荒廃した里山・平地林の整備と同内容の事業であり、整合性を図るため、県補助金額は前記事業の「整備」の補助率(森林上限280千円/ha・竹林上限700千円/ha)を基準とし、実績は実行経費で積み上げること ・実施団体、箇所、面積を確定した後に補助金申請を行うこと
2	渋川市	竹林整備事業	放置竹林を間伐し、地域の安全・安心に資する。 竹林整備面積:0.62ha	2,454,000	613,000	1,841,000		上記理由2により採択としたい ・荒廃した里山・平地林の整備との整合性を図るため、放置竹林の間伐については「困難地整備事業/竹林」の上限2,700千円/haの補助率を基準とする。 ・市が複数年にわたり継続しての調査にかかる費用については、例年と同様に補助対象としない。
3	富岡市	オオヤマツツジ保護保全事業	市内の公園に植栽されている「オオヤマツツジ(A)」の生育環境の保護整備。	733,040	366,000	367,040		上記理由3により採択としたい ・希少種の保護だが、本来の生息地での保護保全ではないため、自然環境の保護保全事業では対象とならない。 しかしながら、対象地が公園で、希少種やその保護等の取組みについて普及啓発効果が高いと考えられることや、保護育成の継続が計画されているため、採択とする。
4	川場村	川場村後山整備事業	川場村の代表的な里山である後山に顕在する病害虫被害木を伐倒し、植林を実施することで、森林環境・景観を回復させる。	800,000	400,000	400,000		上記理由2により採択としたい ・荒廃した里山・平地林の整備との整合性を図るため、森林病害虫被害木の伐倒については「困難地整備事業/森林」の上限500千円/haの補助率を基準とする。
5	川場村	川場村炭焼き整備事業	炭焼き体験を通じて里山に対する理解を深めるとともに、炭利用推進に資することを目的とした炭焼き及び薪割機の整備。	1,979,316	989,000	990,316		上記理由3により採択としたい ・森林環境教育の一環として活用する計画に基づく築造のため、今後の利用は確保されている。 ・ただし、炭の生産や活用については、放射性セシウムに関する留意が必要のため、「調理加熱用の薪及び木炭の当面の指標値の設定について」の通知に基づく取扱いに留意すること。
合計				9,187,040	3,979,000	5,208,040		

別記様式第1号の付の2

平成31年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業箇所別計画書				
(事業計画総括表に添付)				
高崎市				
番号	7	図面番号	(新規)・継続(年度 ~)	
事業名	里山元気再生事業			
事業区分	独自提案事業	事業細区分		事業細々区分
事業実施者もしくは活動団体の住所・名称・代表者名・電話	住 所： 団 体 名： 代表者名： 電 話：			
		H31.4月から本事業を活用する団体を募集し、その後を決定する		
事業実施所在地	市内			
実施面積(ha)		事業内容	竹林の伐採、里山林の下刈 等	
事業目的(必要性)	野生鳥獣の隠れ場になっている竹林や里山林等の伐採・下刈を行い、緩衝帯を設ける地域活動に対して補助を行い、野生鳥獣被害の低減を目的とする。 1団体への補助金は定額30万円、そのうち県補助金額は荒廃した里山・平地林の整備の補助率を基準に実施内容・面積により算出。			
収支の状況				
1	収 入			
	区 分	予算額(円)	備 考	
	県補助金	3,000,000		
	市負担金	3,000,000		
	団体負担金			
	計	6,000,000	20団体(予定)	
県補助金額は千円未満切り捨て				
2	支 出			
	区 分	予算額(円)	備 考	
	報償費			
	旅費			
	需用費			
	役務費			
	委託料			
	賃借料			
	原材料費			
	食料費			
	計	6,000,000		
年度別計画				
次年度以降の取組内容 2年目以降は自主的に管理を行う。なお、希望団体とは協定書を締結した上で、荒廃した里山・平地林の整備の地域活動推進の管理により、補助を行う。				
箇所別に作成 事業実施位置図を添付 実施箇所の状況写真等添付 必要に応じて事業内容を説明する資料を添付				

高崎市里山元気再生事業補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、イノシシ等の野生鳥獣の格好の隠れ場になっている竹やぶ等に緩衝帯を設け、人と野生鳥獣の住み分けを行い、野性鳥獣が出没しづらい環境を整備または里山の元気再生を図るための整備を行う地域活動事業（以下「事業」という。）に係る経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付するものとし、補助金の交付については、高崎市補助金等交付規則（昭和39年高崎市規則第46号）（以下「規則」という。）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(補助金の対象及び内容)

第2条 この事業の対象地域は、市内とする。

2 この事業は、対象となる土地等所有者の承諾を得た団体が実施する事業を対象とし、複数名の参加を必要とするが、その上限は設けない。

3 この事業の補助対象経費、補助率及び補助金限度額は、次のとおりとする。

補助対象経費	補助率	補助金限度額
「高崎市里山元気再生事業」に要する経費（ただし、備品購入費は除く）	定額	1地区あたり30万円 （ただし、予算の範囲内とする。）

(補助金の申請)

第3条 補助金の交付を受けようとする者は、高崎市里山元気再生事業補助金交付申請書（様式第1号）を市長に提出しなければならない。

2 補助金の申請は、地域、法人またはボランティア団体等の代表者が行うものとする。

(補助金の交付決定)

第4条 市長は、前条に規定する申請を受けたときは、内容を審査し、相当と認めるときは補助金の交付を決定し、補助金交付決定通知書（規則様式第2号）により申請者へ通知するものとする。

(補助金の交付)

第5条 前条の規定により補助金の交付決定を受けた者が補助金の交付を受けようとするときは、事業完了後、請求書及び高崎市里山元気再生事業実績報告書（様式第2号）を市長に提出し、確認を受けなければならない。

2 補助金申請者は、市長が補助事業を実施する上で相当と認めるときは、補助事業施行

の中途において補助金の交付請求をすることができる。

（維持管理）

第6条 補助金の交付を受けた者は、整備した緩衝帯等の適正な維持管理に努めなければならない。

（書類の整備）

第7条 補助金の交付を受けた者は、事業に係る収入及び支出等についての帳簿を備え、事業完了年度の翌年度から5年間保存しなければならない。

（補助金の返還）

第8条 事業が適正に実施されない場合は、補助金の一部又は全額を返還するものとする。

（その他）

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

別記様式第1号の付の2

平成31年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業箇所別計画書

(事業計画総括表に添付)

 渋川市

番号	1	図面番号	1 ~ 4	新規・継続(26年度~)	
事業名	竹林整備事業				
事業区分	独自提案事業	事業細区分	独自提案事業	事業細々区分	竹林
事業実施者もしくは活動団体の住所・名称・代表者名・電話	住 所：渋川市石原80番地 団 体 名：渋川市 代表者名：渋川市長 高木 勉 電 話：0279-22-2593				
事業実施所在地	渋川市渋川地内ほか(間伐2箇所)				
実施面積(ha)	0.62ha(間伐)	事業内容	間伐(竹林管理)		
事業目的(必要性)	渋川地内に放置竹林が多くあり、防犯上の阻害や道路への掛かり木等の悪影響が見受けられることから、竹林を間伐し地域の安全・安心に資する。				

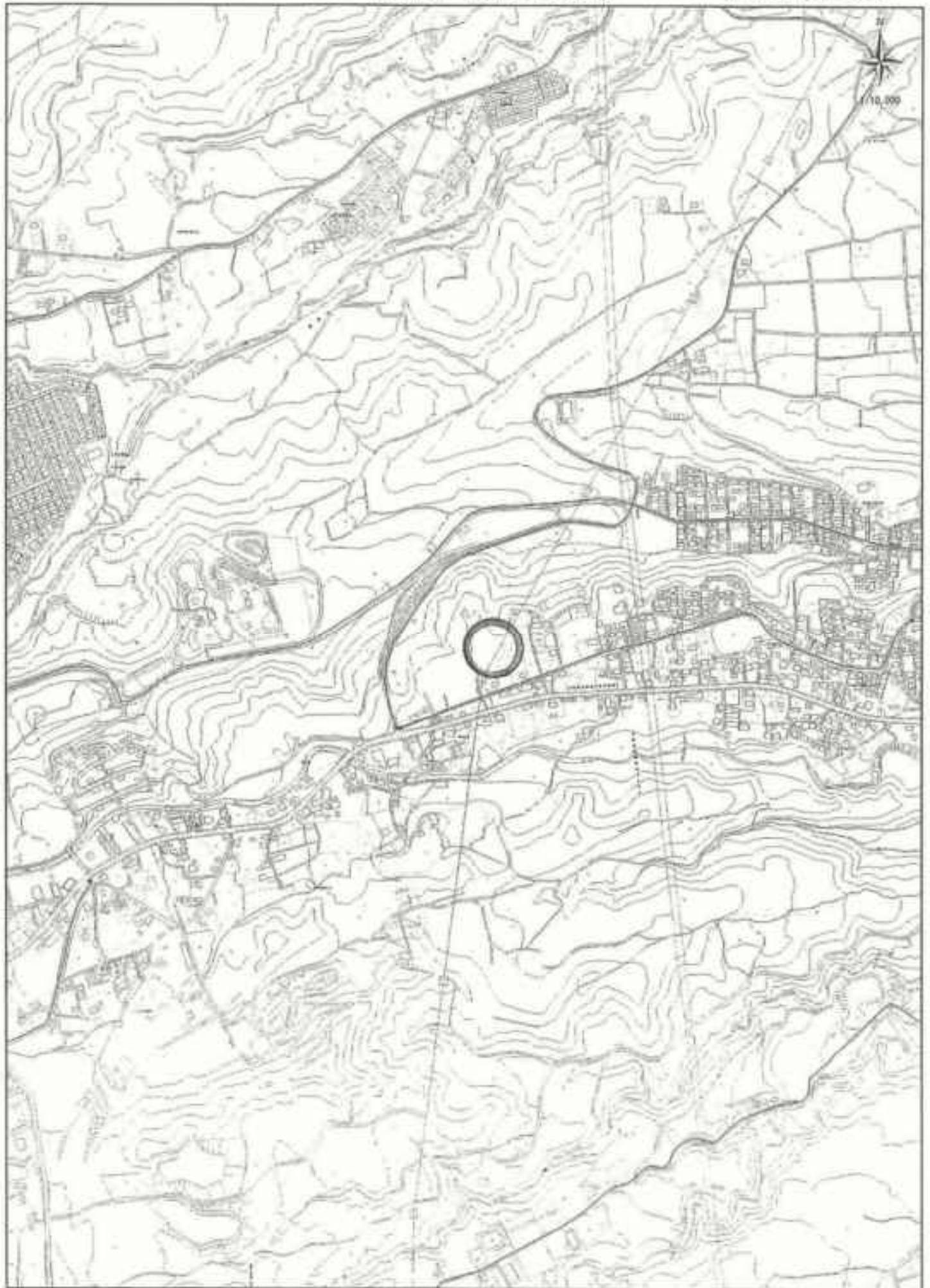
収支の状況

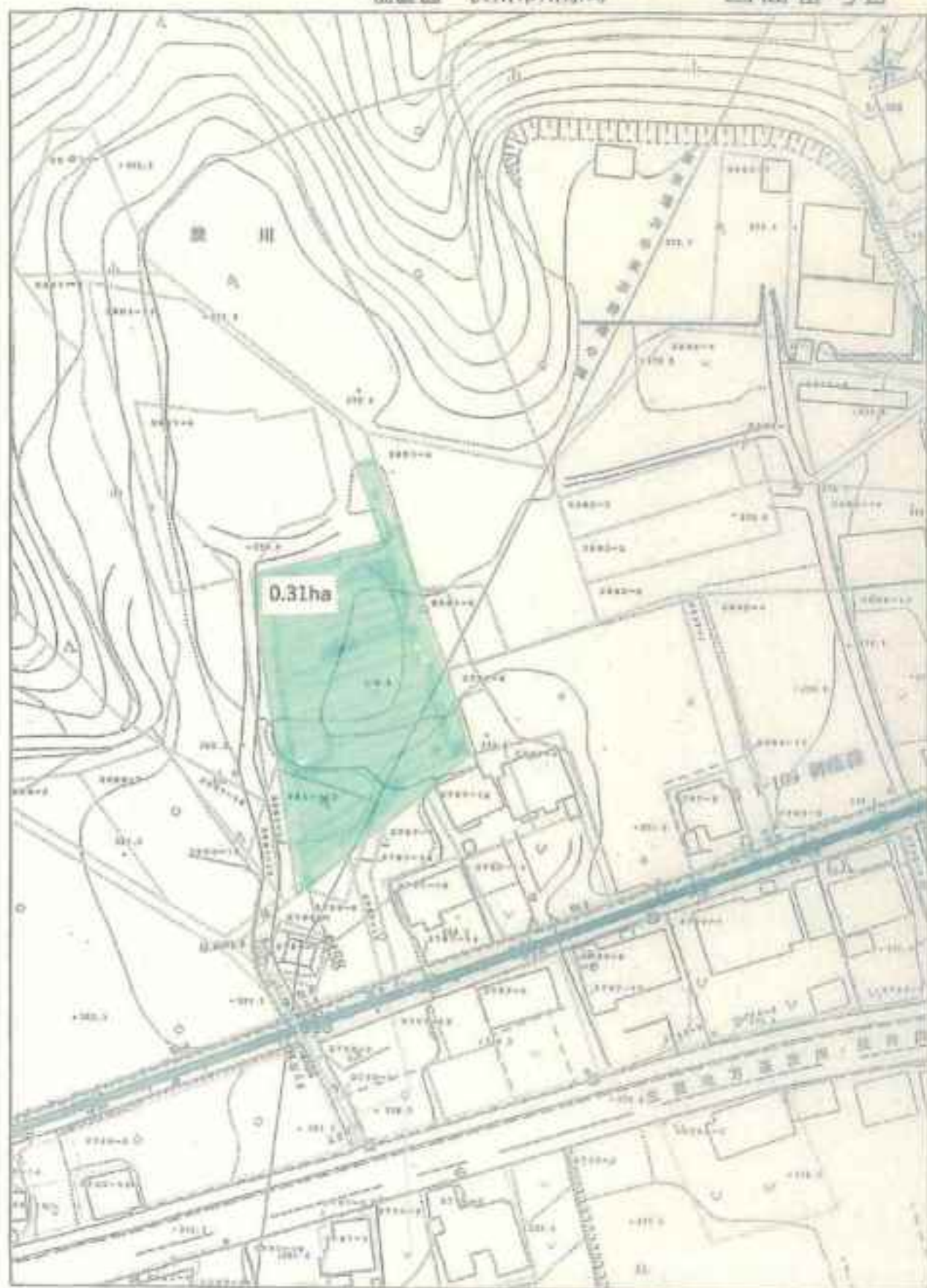
1	収 入		
	区 分	予算額(円)	備 考
	県補助金	613,000	
	市一般財源	1,841,000	
	計	2,454,000	
県補助金額は千円未満切り捨て			
2	支 出		
	区 分	予算額(円)	備 考
	竹林整備業務委託	2,454,000	
	計	2,454,000	

年度別計画

次年度以降の取組内容
 今後も間伐については、パトロールでの発見箇所や自治会要望箇所等において事業を継続する。

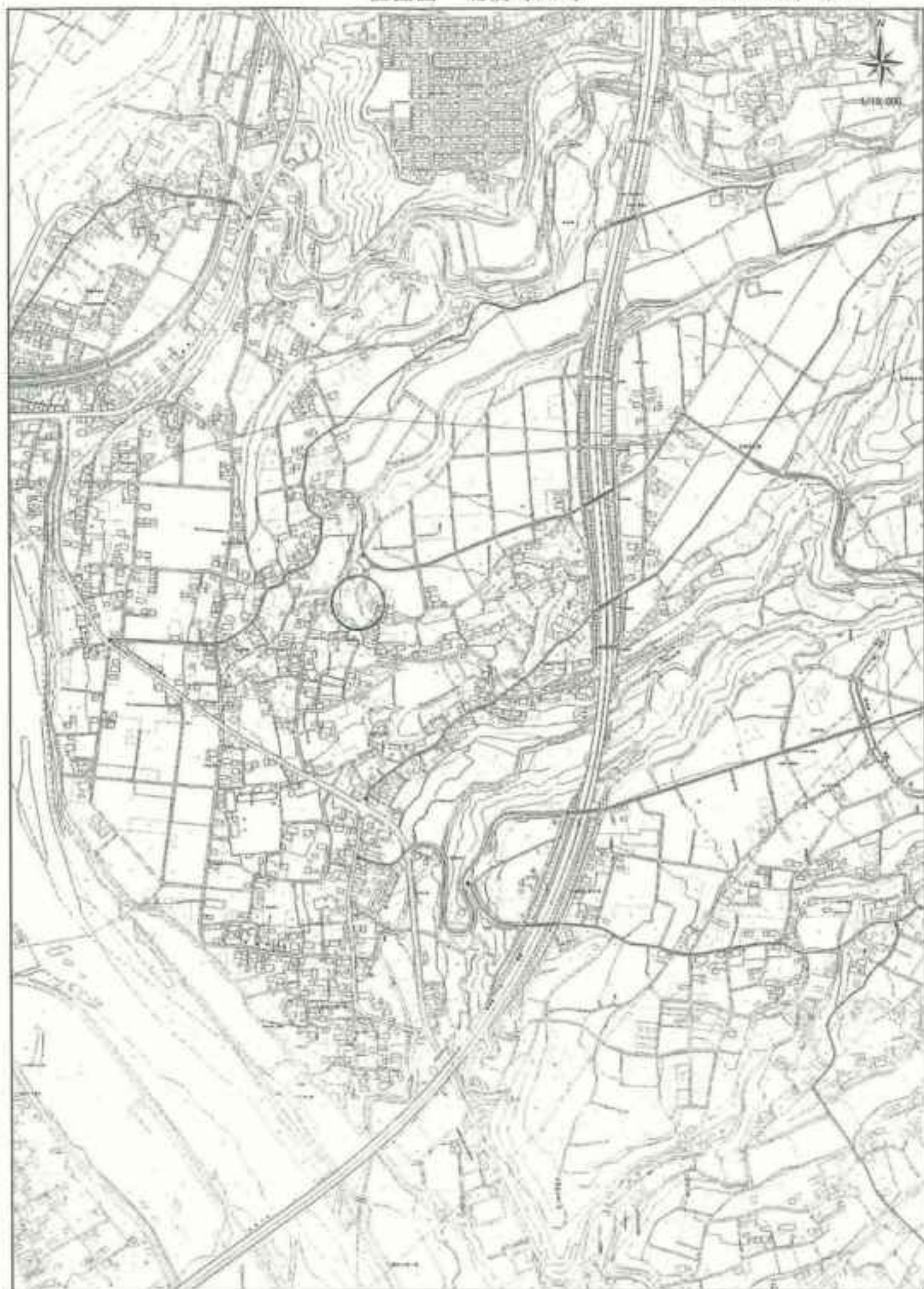
- 箇所別に作成
- 事業実施位置図を添付
- 実施箇所の状況写真等添付
- 必要に応じて事業内容を説明する資料を添付



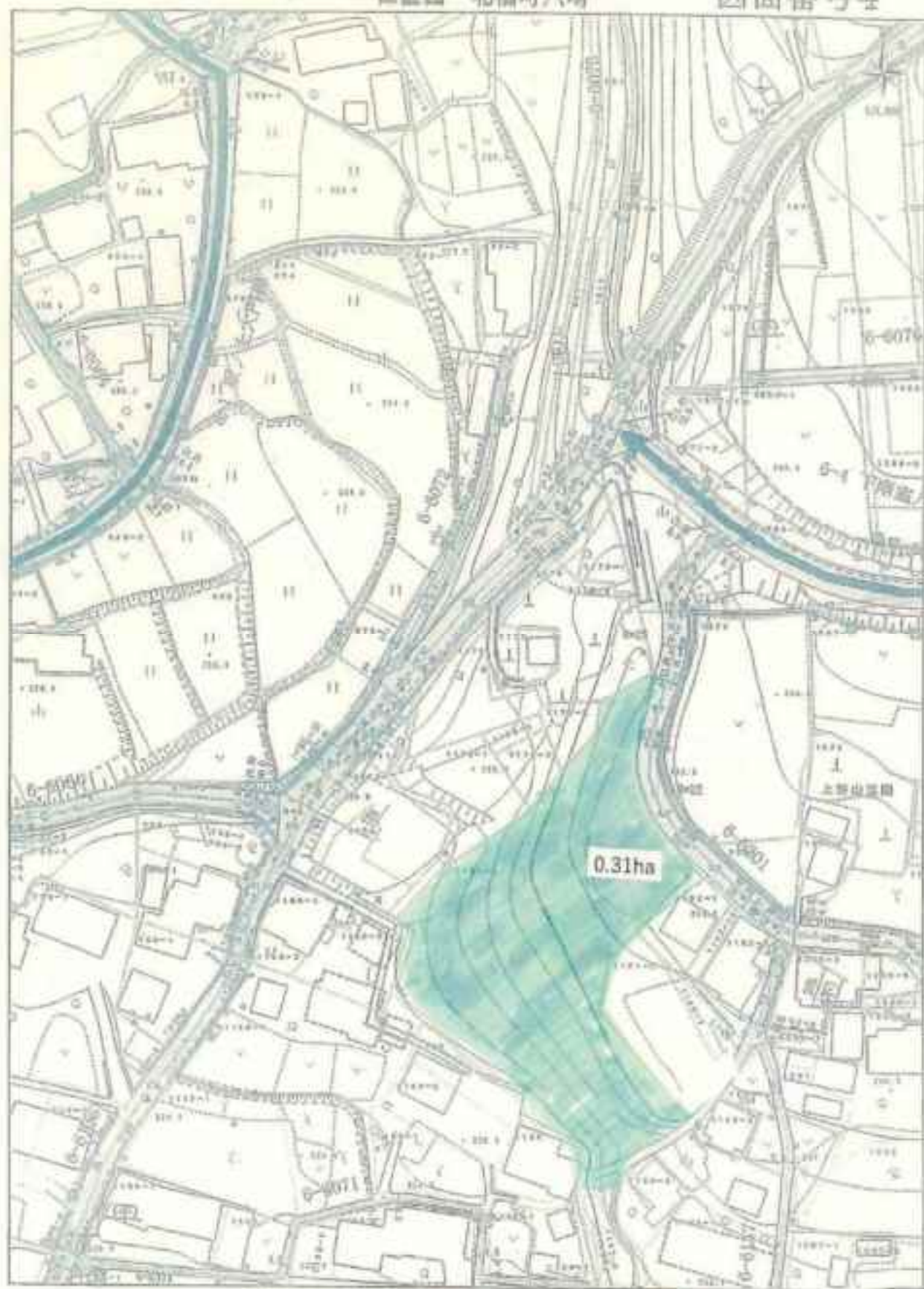


渋川市川原町





0m 225m 450m 675m 900m



北橋町八崎



別記様式第1号の付の2

平成31年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業箇所別計画書

(事業計画総括表に添付)

富岡市

番号	9	図面番号		新規(31年度~)
事業名	オオヤマツツジ保護保全事業			
事業区分	独自提案	事業細区分		事業細々区分
事業実施者もしくは活動団体の住所・名称・代表者名・電話	住 所：富岡市富岡1460-1 団 体 名：富岡市(文化財保護課) 代表者名：市長 榎本義法 電 話：0274-62-1511(内2132)			
事業実施所在地	富岡市宮崎地内			
実施面積(ha)		事業内容	オオヤマツツジの生息環境の保護整備(土砂流出防止工事)	
事業目的(必要性)	市内の宮崎公園に生息するオオヤマツツジ(絶滅危惧種 A類)は既に自然ではほとんど確認されていない貴重な種である。公園内で保護・保全を行っているが、傾斜地のため土壌の流出が進み、ツツジの根が露出して次々と枯死している状況である。早急な土止め工事が必要であるが、市での予算確保が難しく事業が進まないため、補助をお願いしたい。			

収支の状況

1	収 入		
	区 分	予算額(円)	備 考
	県補助金	725,000	
	市費	725,680	
	計	1,450,680	
県補助金額は千円未満切り捨て			
2	支 出		
	区 分	予算額(円)	備 考
	工事請負費	1,450,680	
	計	1,450,680	

年度別計画

次年度以降の取組内容
富岡市で引き続きオオヤマツツジの保護管理を行う。

箇所別に作成
事業実施位置図を添付
実施箇所の状況写真等添付
必要に応じて事業内容を説明する資料を添付

オオヤマツツジの生息環境の保護整備(土砂流出防止工事) 説明書

宮崎公園のツツジ

宮崎公園は鎗川左岸の崖上から斜面に広がる総面積 14,246 m²に及ぶ公園です。明治 20 年(1879)この地の豪商鈴木城作氏が築庭したもので、起伏に富んだ敷地には各種のツツジ類を中心に多くの樹木が収集・植栽されています。庭園は明治 25 年に一般公開、昭和 30 年(1955)に富岡市が所有し市立公園としました。

園内のツツジ類は、総数 790 本ほどを数えます。特に白色・紅紫色や変化のある美しい花弁に特徴があるオオヤマツツジはかつて近隣の山野に自生していましたが、今日ではほとんど見ることができなくなっている貴重なもので、八重咲きを含む鮮やかな朱赤色のヤマツツジ類と合わせて本公園のツツジ類を特徴づけています。



保護整備活動

宮崎公園のツツジの価値について、平成 24 年 2 月の富岡市文化財保護審議会で植物学専門の里見哲夫委員より提案され、平成 25 年 4 月 10 日から植栽調査を開始しました。調査指導者として青木雅夫氏(群馬県文化財保護審議会専門委員)、里見哲夫氏(富岡市文化財保護審議会委員)、神宮開氏(ぐんま自然環境指導員)の 3 名に調査を依頼したところ、176 株(22.7%)が現在では自生がほとんど確認されていない貴重な種(絶滅危惧種 A 類)である「オオヤマツツジ」であることが分かりました。

一般的な公園管理ではツツジの保護整備に不十分なため、専門の嘱託職員 1 名を配備するとともに、平成 30 年度より植栽管理を都市計画課から文化財保護課に移管し、樹木医である黛幸弘氏の助言を得ながら適切な保護管理を目指しています。

現在の保護整備の問題点は、公園地が崖地に広がっていることから土壌流出による根の露出が進み、調査開始から現在までに 15 株が枯死していることです。そのため枯死の危険性がある株については、平成 28 年度から群馬県立富岡実業高等学校と連携し、挿し木により貴重な種を増やす事業に着手しています。

しかし、挿し木の育成が枯死の勢いには追いつかず、植樹できる大きさに育っても戻すべき土壌が崖地のため、調査指導者及び樹木医より早急な土留め対策を求められています。

今後の予定

宮崎公園内にある国指定重要文化財 旧茂木家住宅は、国内で最も古い民家といわれています。富岡市の観光スポットの一つであり、「心にググっとぐんまちゃんパスポート」参加施設です。ここにオオヤマツツジと指定名勝の付加価値がつく事で、更に観光客を呼ぶことが見込まれます。

富岡市観光ホームページ、文化財保護課フェイスブック等により季節ごとに公園のみどころ情報を発信するほか、4 月のつつじ最盛期に開催する「旧茂木家住宅つつじ祭り」のスケジュール内で、青木雅夫氏による「つつじ解説ツアー」、富岡実業生による「挿し木事業紹介」を続けることでも PR し、つつじの価値を広めていきます。

土留め工事で環境整備が整い、ツツジの生育や保護の良好な状況が確認できた段階で、富岡市の名勝として文化財保護審議会に諮問予定です。指定の答申を得られたのちは、文化財として、また市民そして県民共有の財産として、将来に向けて保護整備活動を行っていきます。



見 積 書

平成 31年 1月 18 日

富岡市長
榎本 義法 様

群馬県富岡市富岡2486番地10
鏑川東部森林組合
代表理事組合長 桐生 功



下記の作業についてお見積り致します。

- 1 見積金額 : 金 733,040 円 (内税)
- 2 作業名 : 宮崎公園傾斜地植栽保護工事
- 3 作業場所 : 富岡市 宮崎 地内
- 4 作業期間 : 協議による

宮崎公園追加分

	単価	数量 (m)	金額
丸太柵工	10m当り		
8段	69,040	2	13,000
6段	58,382	15	87,000
4段	48,382	20.8	100,000
丸太柵小計			200,000
その他資材費	2%		4,000
小計 (A)			204,000
土工	m ³ 当り		
人肩運搬	18,900	7.3	137,900
人力法面整形	9,200	7.3	67,100
購入土 (客土用)	3,100	7.3	22,600
小計 (B)			227,600
直接経費計 (A) + (B)			431,600
工事費			431,600
諸経費	0.5441		234,834
			234,800
			666,400
工事価格			666,400
消費税	10%		66,640
合計			733,040

諸経費 (現場管理費含む) は発注先事業体による

消費税は10%とした。

10月以前に発注される場合は8%にて再計算

別記様式第1号の付の2

平成31年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業箇所別計画書

(事業計画総括表に添付)

川場村

番号	5	図面番号	5	新規	
事業名	川場村後山整備事業				
事業区分	独自提案	事業細区分	-	事業細々区分	-
事業実施者もしくは活動団体の住所・名称・代表者名・電話	川場村				
事業実施所在地	川場村立岩地内				
実施面積(ha)	0.80	事業内容	伐倒、地拵え、植林		
事業目的(必要性)	川場村の代表的な里山である後山に顕在する病虫害被害木を伐倒し、植林を実施することで、森林環境・景観を回復させる。				

収支の状況

1 収入

区分	予算額(円)	備考
県補助金	400,000	
村費	400,000	
計	800,000	

県補助金額は千円未満切り捨て

2 支出

区分	予算額(円)	備考
委託料	800,000	
計	800,000	

年度別計画

次年度以降の取組内容
植林を実施した箇所の下刈りを行う。

箇所別に作成
事業実施位置図を添付
実施箇所の状況写真等添付
必要に応じて事業内容を説明する資料を添付

平成31年度川場村後山整備事業実施位置図

平成31年度川場村後山整備事業実施位置図

川場村全図



図面番号⑤



清田市

水上市

川島村

利根町

後山(立岩地内)

白沢村

1 : 50,000

川場村役場



川場村後山整備事業

1 目的

川場村には古くから村民の暮らしに関わり、非常に重要な役割を果たしてきた里山である「後山」がある。後山は、かつての里の住民が薪炭用材や山菜を採取するために利用することで、里の住民と深く繋がり多くの恩恵をもたらしてきた。

現在では、道の駅川場田園プラザが東麓に位置し、村内に訪れた多くの観光客が後山に整備された遊歩道を散策し、村内の観光交流事業において非常に重要な役割を担っている。

しかし、近年では森林病虫害の被害によって枯渇した木々が多く顕在し、枯渇立木は倒木の恐れがあり歩行者に対する被害の危険性が增大している。

そのような状況を改善するために病虫害被害木を伐倒した後に植林を実施することで、被害の危険性を除去し、観光人口を増大することを図る。

2 事業内容

森林病虫害被害木の伐倒

伐倒跡地の地拵え

モミジ・サクラの植林

3 次年度以降の取り組み

次年度以降は、植林地の下刈りを行い管理を実施する。



古道を歩けば、日頃見逃しているものが見えてくる。

かくも村の奥深くに隠れ、大昔の姿を色々に残す「後山」こそ、その雄姿あらたけいおこされています。山中を遊歩の佳境を味わい、百鬼夜行を中心とした怪談や伝説などの怪談・伝説もあふれています。
後山には「剣先」や「おたけ」として、古くから語り継がれてきたおとぎ話もあふれています。ぜひとも訪ねてみて、あらたな発見があります。

里山を歩いて見つけよう、心のおとろえ。



川繩村を歩こうよ!

この建物は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この建物は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この建物は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この建物は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この建物は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

この景観は、1611年に建てられた「山内家」の邸宅。現在、山内家博物館として公開されています。この建物には、山内家の歴史や文化が数多く残っています。

八 川場村を歩こうよ!



川場村の自然を満喫できる散策コースが6コースあります。

- 小鳥沢コース 400m
- 天神山コース 780m
- 新築コース 335m
- 富山コース 250m
- 田原アサガコース 030m
- 虚空蔵さま歩道 450m
- 山頂神社コース 1,700m

雰囲気変えて、ときには気軽に山歩き。

後山は標高370mの、四季問わず歩ける山です。登山は、果物の茂りにあふれ、かつて清流川村や山道を探検していた山で、夏の住民は登山が大好きです。

現代では、冬はスキー、夏はハイキング、秋は紅葉狩り、春は桜見物など、さまざまな楽しみが待っています。大きな夜明けを待たせていることには変わりありません。

後山の木々や草花は、四季を通じて色とりどり、何種類ものサルベニア、いろいろな花が咲き誇ります。



アインシュタインが観望されています。アインシュタインが観望されています。アインシュタインが観望されています。

右側には新緑や紅葉、美しい風景、美しい風景と、野山の自然を眺めながら歩けば、心も体も癒されます。

「後山古道コース」は7コースで、総延長は約5.700m。ファミリーでも気軽に楽しめるコースになっています。登山のやさしい自然にたのしみながら歩きましょう。



大昔は火山だった!

昔は、後山は火山でした。約1万年前、後山は火山でした。約1万年前、後山は火山でした。約1万年前、後山は火山でした。

約1万年前、後山は火山でした。約1万年前、後山は火山でした。約1万年前、後山は火山でした。

後山の仲間たち



●クマ
クマは、後山には多く生息しています。クマは、後山には多く生息しています。クマは、後山には多く生息しています。



●ウサギ
ウサギは、後山には多く生息しています。ウサギは、後山には多く生息しています。ウサギは、後山には多く生息しています。



●リス
リスは、後山には多く生息しています。リスは、後山には多く生息しています。リスは、後山には多く生息しています。



●キツネ
キツネは、後山には多く生息しています。キツネは、後山には多く生息しています。キツネは、後山には多く生息しています。

のんびりと里山散策、じっくりと自然観察。

後山にはたくさんの動物がいます。100種以上の動物がいます。100種以上の動物がいます。



●アサガ
アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。



●アサガ
アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。



●アサガ
アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。



●アサガ
アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。



●アサガ
アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。アサガは、後山には多く生息しています。



川場村役場
TEL.0278-52-2111
http://www.vill.kawaba.gunma.jp

八 川場村を歩こうよ!



コース名	距離	所要時間	難易度
小鳥沢コース	400m	15分	★
天神山コース	780m	30分	★★
新築コース	335m	10分	★
富山コース	250m	10分	★
田原アサガコース	030m	5分	★
虚空蔵さま歩道	450m	15分	★
山頂神社コース	1,700m	45分	★★★

見 積 書

平成30年12月10日

川場村長 外山京太郎 様

住 所 利根郡川場村大字谷地 2,054 番地
見積者 利根沼田森林組
氏 名 代表理事組合長 鈴木敏雄



川場村財務規則を了承のうえ、次のとおり見積りします。

記

1. 見 積 金 額 金 800,000円 (消費税を含む)
2. 業 務 名 平成31年度 川場村後山整備事業 (県民税独自提案型)
3. 業 務 箇 所 川場村地内
4. 数 量 0.81ha

別記様式第1号の付の2

平成31年度ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業箇所別計画書

(事業計画総括表に添付)

川場村

番号	6	図面番号	6	新規
事業名	川場村炭焼窯整備事業			
事業区分	独自提案	事業細区分		事業細々区分
事業実施者もしくは活動団体の住所・名称・代表者名・電話	川場村			
事業実施所在地	川場村大字中野地内			
実施面積(ha)	-	事業内容	炭焼窯の築造、薪割機の購入	
事業目的(必要性)	炭焼窯及び薪割機を整備し炭焼き体験を実施することで、里山に触れ、里山に学び、里山に対する理解を深めるとともに、炭利用推進に資することを目的とする。			

収支の状況

1 収入

区分	予算額(円)	備考
補助金	949,000	
村費	950,316	
計	1,899,316	

県補助金額は千円未満切り捨て

2 支出

区分	予算額(円)	備考
委託料	1,000,000	
備品購入費	899,316	
計	1,899,316	

年度別計画

次年度以降の取組内容
川場村東京都世田谷区と縁組協定を結び、38年間にわたって交流事業を行っている。その事業の一つに里山自然学校があり、川場村民と世田谷区民による共同の里山管理を行っている。本事業に炭焼き体験を組み入れることで目的に沿うプログラムを推進する。

箇所別に作成
事業実施位置図を添付
実施箇所の状況写真等添付
必要に応じて事業内容を説明する資料を添付

平成31年度川場村炭焼窯整備事業実施位置図

川場村全図

図面番号⑥



中野字ヒロイ

1 : 50,000

川場村炭焼窯整備事業

炭焼窯及び薪割機の整備による住民参加の里山管理と炭利用の推進事業

1 目的

里山は、農山村地域における生業と暮らしの「技」と「知恵」を研ぎ、自然と共生する里山文化を創造してきた。その中の一つに炭焼き（製炭）がある。かつて本国のエネルギー需要の大半を担っていた薪炭は、全国各地の森林から生産され、農山村の大きな現金収入であり、農山村民は薪炭を生産することで生計を賄ってきた。

しかし、1950年代の燃料革命によってエネルギー需要の大半が化石燃料へと変化していき、農業の近代化が進むと森林の役割が大きく転換し里山は放置される傾向になり、その多くが荒廃した。

だが、里山には自然と人との関わりや繋がりの痕跡が多く残り、環境教育体験学習の場として非常に優れた機能を有している。

そこで、里山を管理し、理解を深める一つ的手段として炭焼き体験を実施し、里山に触れ、里山に学び、里山を理解するとともに薪炭利用推進に資することを目的とする。

2 事業計画

川場村は昭和56年に東京都世田谷区と相互協力協定（縁組協定）を結び、38年間にわたって交流事業を行っている。その事業の一つに「健康村里山自然学校」があり、特に、縁組協定10周年を記念して発足した「友好の森事業」は、川場村民と世田谷区民による共同の里山管理を行い、森林に学び、遊び、憩う活動を続け、その取り組みは着実に新しい文化を築き上げてきた。本事業に炭焼き体験を組み入れることで目的に沿うプログラムを推進し、里山の保全・育成を目指す。

1．炭焼窯の利用方法

村民、世田谷区民を対象とした炭焼き体験を実施し、里山に触れる場を設け、里山に対する理解を深め、森林環境教育、交流事業を推進する。

2．木材の調達方法

【体験活動主体による木材の調達】

友好の森（約80ha）は、世田谷区民と川場村民の協働による森づくりを展開しており、年間を通じて里山整備の体験活動が実施されている。友好の森敷地内にある広葉樹林（主にコナラ等）や檜林等の間伐体験等で搬出された材を炭焼きの炭材として活用する。

健康村里山自然学校プログラムでの調達

里山塾養成教室・親子里山体験教室

こども里山自然学校・川場まるごと滞在記

炭焼き体験入門

その他オーダーメイドによる間伐体験等の活動

利根沼田森林組合から調達

炭焼きの炭材が不足した場合、利根沼田森林組合より直接購入を行う。

コナラ、アカシア等

3．炭の利用方法

燃料材としての用途のみでなく、その他の用途でも活用する。

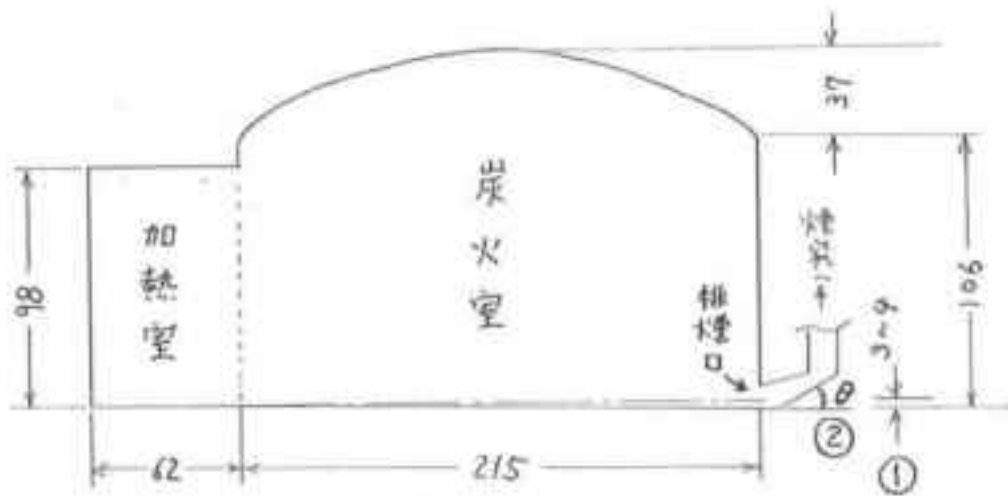
野外炊事場でのバーベキューでの燃料材

学校教育及び一般利用者への鱒の塩焼きでの燃料材

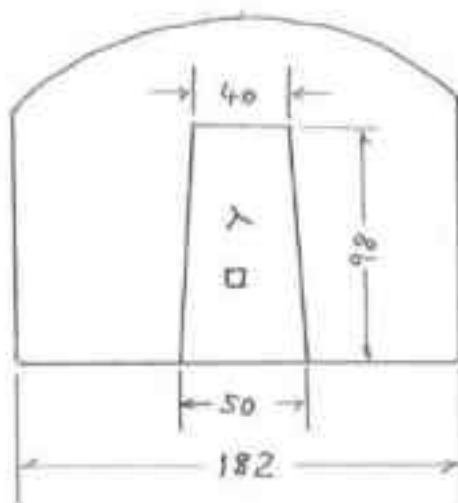
環境保全活動として、道の駅川場田園プラザ及び川場中学校の水質浄化用として活用

交流施設館内での調湿用材として利用

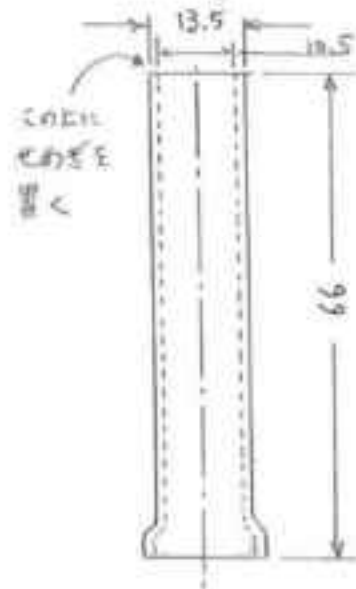
Ⅶ. 炭焼き窯の形状と寸法



側面図



正面図



土管径突

1. 寸法は窯のおおよその内寸(単位:センチメートル)
2. 壁はコンクリート・ブロック製、床はコンクリート製
3. 天井はドーム型、鉄筋耐火セメント製
4. 炭化室の床は、3~4センチの奥行き下りの傾斜がついている。(①)
5. 排煙口の角度 θ は炭焼き性能を左右するものとして重要という。(②)

見 積 書

平成31年1月21日

川場村長 外山 京太郎 様

下記の通り御見積申し上げます

件 名	炭焼き窯
御見積金額	¥1,080,000
納入場所	
支払条件	
有効期限	

利根郡川場村大字谷地2,054番地4
利根沼田森林組合
代表理事組合長 鈴木敏雄

項	品 名 型 式	数量	単 価	金 額
	炭焼き窯(1,820×2,150×1,430)	1	1,000,000	1,000,000
	小 計			1,000,000
	消 費 税			80,000
	合 計			¥1,080,000

備考	消費税率につきましては、現時点での税率となります。
----	---------------------------

見 積 書

平成31年1月21日

川場村長 外山 京太郎 様

下記の通り御見積申し上げます

件 名	薪割機他
御見積 金額	¥899,316
納入場所	
支払条件	
有効期限	

利根郡川場村大字谷地2-05(番地)
 利根沼田森林組合
 代表理事組合長 鈴木敏雄

項	品 名 型 式	数 量	単 価	金 額
	新官商行PS42NSL(破砕力11トン)(破砕長107cm)	1	750,000	750,000
	四つ割キッド	1	19,700	19,700
	軽トラ用牽引ヒッチ	1	38,000	38,000
	運賃	1	25,000	25,000
	小 計			832,700
	消 費 税			66,616
	合 計			¥899,316

備 考	消費税率につきましては、現時点での掛率となります。
-----	---------------------------